

# 令和4年度各種会計等 決算認定審査

委員会審査：9月29日、10月2日・5日  
委員長：齊藤好信 議員  
副委員長：桜木誠 議員



(動画時間) 26分  
9:59 委員長報告

## ◆決算の概要

一般会計の決算状況は、歳入が60億9,360万円で対前年度比で1.3%減少し、町債の臨時財政対策債の減少がその主要因となっています。

歳出は、58億5,734万9,000円で対前年度比で2.3%減少し、小・中学校冷房機設置工事などにより、投資的経費が増加した一方で、基金積立額の減少がその主要因となっています。

## ◆委員会審査

委員会においては、所管課ごとに説明を受け、歳入では収入の確保に努めているか、また、歳出においては、予算が目的どおりに適正に執行されているか、費用対効果が発揮されているかなどを主眼に審査を行い次の4点について、理事者の見解と回答を求めました。

## 【理事者の見解・回答】

### ○公共施設の今後の在り方について

公共施設総合管理計画などに基づき、施設の機能統合などについて、利用する団体などに対して十分な理解が得られるよう

丁寧な説明を行い、合意形成を図っていく。

### ○多額の不用額が発生しない予算の適正執行について

常に予算の執行状況を把握し、適正な時期に補正減などを行うよう明確な指示を行うとともに、予算編成の際は、十分な精査を徹底するよう指示を行う。

### ○福祉・医療施設の経営改善等について

今後、福祉・医療関係職場が連携して情報共有・共通認識を持てる組織を立ち上げ、経営改善を進めていくとともに、利用者などに対するサービスの充実のため、職場環境の改善や職員の資質向上を積極的に進める。

### ○農・林・商工業及び福祉・医療分野の人材確保対策について

タウンプロモーション推進部で移住や定住・就業・企業支援などを担っている。農・林・商工業などの審議会において、共通する課題解決に向けた制度づくりなどのための仮称「産業振興基本条例」の制定などを進めていく考えである。

## ◆審査意見

町民のニーズに対応した公共施設の再編・統廃合、予算の適正な執行に向けたガバナンスの強化、福祉・医療施設の経営改善や利用者などに対するサービスの向上のための職員の資質向上に対する明確な対応方針、各種産業の人材確保等に向けた新たな仕組み・制度づくりなどに期待するものとともに、大きく



理事者見解の様子

令和5年9月29日、10月2日、5日の3日間にわたり、決算認定特別委員会を開催し、令和4年度各種会計などの決算内容の審査を行いました。

最終日の5日には、理事者の出席を求め、質疑や委員間討議を行い、各種会計における決算内容は、いずれも認定すべきものと決定しました。

この議会だよりでは、10月臨時会議で結果報告した内容を一部抜粋してお知らせします。